



今後の支部運動に向けて～第2回 評議員会～

1月14～15日の両日、各支部の評議員会を開催しました。3学期早々の開催となりましたが、各支部とも熱心な討論が行われ、今後の支部運動に向けての方針を確認する場となりました。また、市教組の役員選挙を控え、選挙管理委員の選出も行われました。以下は各支部評議員会のダイジェスト報告です。

【南部支部評議員会】

1月14日、大阪市社会福祉センターにて南部支部の評議員会を開催しました。議長には平野西小分会の中西さんが選出されました。支部長あいさつ、市教組本部・各来賓のあいさつの後、児玉書記長より経過報告および当面の闘争方針提案がありました。

討論では、青年部より桑津小分会の高嶋さんより取り組みの報告がありました。特に秋から市教組NEXTの公式LINEを立ち上げたこと、青年層のつながりを広げていくために、各分会に登録を呼びかけてほしいと話がありました。女性部からは長原小分会の小山さんより2学期までの取り組み報告がありました。特に秋に開催した「水平社博物館フィールドワーク」では現地に行って見学することの大切さについて話されました。採決では全員一致で原案を可決することができました。

【東部支部評議員会】



1月14日、エルおおさかにて、東部支部第2回評議員会を開催しました。民族講師会・市教退の活動の案内のあと、支部執行部から今年度の活動についての報告と提案をしました。参加した評議員からは、特別専科教諭の現状や教員の欠員について、また市教組の反戦平和に関する活動への質問がありました。討論では、女性部の活動の紹介などがありました。採決では、賛成多数で執行部提案が可決され、支部役員選挙の選挙管理委員が選出されました。



【西部支部評議員会】



1月15日、西成区民センターにて西部支部評議員会を開催しました。議長に新今宮小分会の辻さんが選出され、松本書記長より当面の闘争方針と西部支部選挙管理委員の選出について、提案がありました。討論では真住中の家原さんより、評議員会へより一層の組合員の結集をしてほしいことと、給特法に対して市教組が勝ち取った内容をもっとアピールしてほしいとの意見が出されました。さらに政治情勢が混とんとする中、やはり憲法改悪を許さない取り組みを粘り強く続けてほしい系の意見が出されました。採決では、原案が圧倒的に多数の賛成により可決されました。

【北部支部評議員会】

1月15日、総合生涯学習センターにて、北部支部評議員会を開催しました。給特法に関わり、担任手当を大阪市は押し返すことができたが、他市では実施されると聞いている。これを足掛かりに、今後も教職員を分断するような施策が行われるのではないかと懸念や、通級指導教室担当が複数の学校を兼務することへの警戒。生成AIパイロット校等の取り組みが行われているが、自分で考えようとしなくなる傾向も見られることから、AIを活用する際の丁寧な共通理解が必要だという意見。教員の仕事を事務職員にスライドさせているような働き方改革への憤り、先輩方の取り組みに学び「今こそ平和教育への積極的な取り組みをすすめよう」といった提案など、日々感じていることや疑問に思っていることが出されました。活発な討論が行われ、採決では原案が可決されました。



北部支部・女性部「シン☆元気アップフェスタ」



1月24日(土)、北部支部が、シン☆元気アップフェスタを開催しました。このイベントは支部女性部「文化の集い」が前身で、現在は組合員が誰でも参加して交流を深められる形を変えて、2回目を迎えました。親子での参加が増え、親子対戦や分会対戦でのダーツ、大人が真剣にボードゲームをする横で子どもたちは卓球を楽しむなど、会場の「ピンポンバー」ならではの様子がありました。軽食に会話もはずみ、豊富な種類の飲み放題で、大人も子どもも楽しみました。また、他支部からも若手中心のNEXT!メンバーが参加し、小中学校の垣根を越えて新たな交流も生まれました。北部支部は、これからも、誰もが気軽に参加できる活動を模索し、お互いの顔が見えるつながりを作っていきます!

教研活動でつながろう！第426回 中央委員会



1月22日、大阪市教育会館東館にて第426回中央委員会を開催しました。冒頭、三谷委員長があいさつで「自民党と旧統一教会との癒着問題や、維新議員による国保逃れなど政治の課題は山積している。大阪W選はこれだけで28億円の費用を投じる計算で、市民や府民にとっては全く大儀のない選挙である。衆議院選も厳しい闘いとなることが予想されるが必ず投票所に行きましょう」と呼びかけました。

続いて中松書記長より経過報告と当面の闘争方針の提案がありました。総合教育会議で発表された次期大阪市教育振興基本計画や第3次働き方アクションプランの概要についても触れ、「現場が困っていることや負担に感じていることを集約して、2月に予定されている勤務労働条件の交渉に活かします」との話がありました。続いて、吉川副委員長による上半期の市教組会計報告と、横関会計監査による会計監査報告がありました。討論には3人の方が参加し、採決では原案が圧倒的賛成の下で可決承認されました。

【養護教職員部 西中分会 横田中央委員】
養護教職員部は12月6日に「安心して働き続けるために」と題した学習交流会を開催した。講師の役員OBが市教組や養護教職員部の歴史、組合の意義、これまでの運動の成果について語られ、参加者は組合の重要性や権利の大切さを学ぶことができた。少数職種としての横のつながりの大切さや、悩みの共有の意義も再確認し、安心して働ける環境が児童生徒の健康管理にもつながることを実感できる学習会となった。



【事務職員部 玉造小分会 宮尾中央委員】

来年度の事務職員の新規採用者は25人で、年齢上限の引き上げにより多様な人材が加わっているが、病気休職者の増加や時間外勤務の増加など、厳しい勤務環境が続いている。こうした中、事務職員部は労働条件改善に向けた交渉を重ねており、11月に「給与について」の学習会を開催。約80人が参加し、給与制度への理解を深めることができた。今後も地区や青年部との連携を強化し、組織の拡大をすすめていく。

【女性部 平野西小分会 戸田中央委員】

女性部では2月に2つの取り組みを予定。まず、2月6日教育会館で手話歌の学習会を開催。前回に続き山口さんと高戸さんを講師に迎え「世界が一つになるまで」の手話歌を学ぶ。子どもたちに手話を教える機会につなげたい。2月14日は、浪速区民センターで「いっしょにフェスタ2026」を開催。毎年恒例の行事で、様々な団体が集まり発表や交流を通じて、社会課題や子どもたちに関わる大切な視点を共有する。女性部以外の参加も歓迎します。



全国の仲間と共に～政令指定都市教組協議会 in 大阪市～

2月1～2日、「政令指定都市教組協議会」が大阪市で開催されました。全国の政令市の教職員組合が定期的に集い、取り組みの情報交換や、制度交渉の進捗状況などを交流し、各市教組での賃金・労働条件、教育条件の改善につなげる協議会です。

今回は、12都市教組が集まり、主に改正給特法に関する取り組みの最新情報を交流しました。各都市の実態に合わせた取り組みが報告され、今後の当局との交渉につながるヒントがたくさんありました。

二日目は、大阪市の魅力を知ってもらおうと「千日前フィールドワーク」へ出かけました。「かくれスポット大阪」の著者として知られる吉村智博さんをナビゲーターに、道頓堀周辺を散策しました。安田道頓や道トラが開削した道頓堀。東西の水路完成は水都大坂を形作った偉大な功績であり、そこにかかる橋の数々にも歴史的経過や、大衆の思いが込められていることを吉村さんの長年の研究の視点から解説していただきました。そして現在の千日前エリアは、江戸時代は墓所や火葬場が存在した場所でありながらも「墓所は栄える」の言葉通り、芸能や文化の町に発展し、いつしか関西一の繁華街となり、現在はインバウンド観光客向けのターミナルとなった歴史を語っていただきました。

吉村さんは、「指導者が多様な情報を持つことで、授業に深みを持たせることができます」と自分の目で確かめ、触れて、実感することの大切さを伝えていただきました。



集え青年部！～大盛況！2・6 NEXT 交流会～



2月6日に市教組青年部NEXTの第2回交流会がピンポンバーで開催されました。

今回の参加者は、28人でした。4支部から参加がありました。カードゲームで交流し、美味しいご飯を食べながら交流できました。「ゲームをしながら他校の先生と仲良くなれたのがよかった！」「いつもは、支部の中での集まりだったから、地域を越えて繋がりができてよかった！」という感想の声を参加者から頂きました。これからもたくさんの人と繋がることができるイベントを企画していきますので、ぜひご参加下さい。

※NEXTは2/21(土)13:00～

「大阪城公園平和FW&水上バスツアー」を企画中です。ぜひご参加ください！